

肥育管理技術向上のためのビタミンA濃度測定

血中ビタミンA濃度を徐々に低下させ月齢に応じた理想的な値に近づけると肉質が向上するため、当センターでは肥育牛の血中ビタミンA濃度を定期的に測定しています。

昨年度は南丹管内8農家を対象に、過去最多の延べ1,975件を測定し、南丹家畜保健衛生所を通じて、各農家に結果が報告されました。報告結果を基に各農家は飼料内容を改善し、健全かつ肉質を向上させる肥育管理に取り組んでおり、本年度も引き続きビタミンAの測定を通じて高品質牛生産を支援していきます。



肥育牛の尻尾から採血し、ビタミンAを測定